

礼拝プログラム ※主の導きにより変わる事があります

- 黙祷 マルコ 9:23-24 …… 御言葉に耳を傾け心を主に向けましょう。
- *賛美 …… 21番 力の主を
- *交読文 …… 14番
- *使徒信条 …… 会衆一同
- *頌栄 …… 177番 御霊よ、降りて
- 礼拝のための祈り …… 成田エクレシア:朴執事 天声:小林伝道師
- 賛美 …… 393番 われらの戦い血によらず
- メッセージ …… 無割礼の強者が「仕組み」を強要して来る場合(1サムエル記17章)
- 御言葉を適用する祈り … 会衆一同
- 賛美 …… 399番 さかえの王にます主の
- 幸せと成功の宣言文 …… 会衆一同
- 献金感謝の祈り …… パスター
- 報告 ……
- *主の祈り …… 会衆一同
- *祝祷 …… パスター

天声教会は

- ・御言葉なる主の御声を忠実に聞く教会。(ヨハネ 1:1、マタイ 3:17、17:5)
- ・主の御言葉を心で信じて義に至る教会。(ローマ 10:10)
- ・全能なる主の御言葉を口で告白し、救いに至る教会。(ローマ 10:10)
- ・受けた恵みを愛と忍耐をもって実践する教会。(第二テサロニケ 3:5)

祝福の御言葉(下線にご自身のお名前を入れて宣言して下さい)

____が召された時の事を考えてみるがよい。人間的には知恵のある者が多くはなく、権力のある者も多くはなく、身分の高い者も多くはいない。それなのに神は、知者を辱めるために、この世の愚かな者を選び、強い者を辱める為に、この世の弱い者を選び、有力な者を無力な者にする為に、この世で身分の低い者や軽んじられている者、すなわち、無きに等しい者を、あえて選ばれたのである。それは、どんな人間でも、神の御前に誇る事が無い為である。(1コリント 1:26-29)

おまえはつるぎと、やりと、投げやりを持って、____に向かってくるが、____は万軍の主の名、すなわち、おまえがいどんだ、イスラエルの軍の神の名によって、おまえに立ち向かう。…またこの全会衆も、主は救を施すのに、つるぎとやりを用いられないことを知るであろう。この戦いは主の戦いであって、主が____の手におまえたちを渡されるからである。(1サムエル記 17:45-47)

イエスは____に言われた、「もしできれば、と言うのか。信ずる____には、どんな事でもできる」。____はすぐ叫んで言った、「信じます。不信仰な____を、お助けください」。(マルコ 9:23-24)

からだの訓練は少しは益するところがあるが、信心は、今のいのちと後の世のいのちとが約束されてあるので、万事に益となる。(1テモテ 4:8))

ゴリヤテは、身長 2.9メートルの巨体に、殺傷力が高い武器や防具を身につけ、幼い時から戦闘訓練を受けてきた能力にモノをいわせ、神の民を脅し、彼のルールを押しつけて来た。「お前らはサウルの奴隷ではないか」「一人よこせ」「勝負して勝ったら奴隷になってやる」「勝負に負けたら、お前達は奴隷になれ」と(4-9 節)。イスラエルの軍は彼に気圧され、意気消沈し、40 日もの間、朝夕なぶられっぱなしであった。

私達にもこのような「ゴリヤテ」が立ちのはだかるかもしれない。そのゴリヤテは一方的にルールを押し付け、勝手に設けた不利な土俵で勝負するよう要求し、「とても勝てない」と気落ちさせ、なぶられ放題にするような「仕組み」を仕掛けて来る。今、時代が、そうなりつつあるが、聖書には、小さい者が大きな相手を倒す場面が、いくつもある。そのような「ゴリヤテ」がはびこる昨今、その者と渡り合って、勝つ術を学びたい。

イスラエルがなぶられて40日が経った時、少年ダビデは、父からのお使いを頼まれて、そこへ来た。ダビデは、ゴリヤテが平然とイスラエルをなぶるのを見て、また、イスラエルの大人達が皆、彼を恐れて逃げ隠れているのを見て、大いに憤慨した。ダビデにとって、自分達は「生ける神の陣」なのに、それを、無割礼の者によって良いようになぶられっ放しだったからだ(24-26 節)。私達も、きよく保つべき自分の人生や仕事、家庭、経済という「神の陣」を、無割礼の者が好き放題にしているなら、大いに憤り、対処すべきだ。

サウル王は、そんなダビデを呼び出した。サウルは思ったかもしれない。この少年はきっと、少年にありがちな「全能感」に駆られ、大風呂敷を広げているのだろう、と。しかしダビデには、ゴリヤテを打ち倒す根拠があった(34-37 節)。ダビデは羊飼いだっが、羊がさらわれたなら、相手が獅子でも熊でも、いのちがけで取り返す性分だった。その性分こそ、神様が「エッサイの子らの中に王を見つけた」と評価された性質だ。ダビデは「羊飼い」という、人から見れば「下っ端仕事」をしている間、忠実に羊を守り、獅子や熊からさえも、羊を守ったので、主は彼を、イスラエルを牧する「王」とするために、羊飼いの牧場で鍛えておられたのだ。私達も「羊」を養う時、軽んじてはならない。その「羊飼い」の仕事は、王になるための訓練だと思うべきだ。

サウルは、ダビデに、自分のよろいかぶとを着させたが、ダビデは、それが馴染まない、と分かったと、躊躇なく脱ぎ捨て、自分に馴染んだ、「羊を養う道具」を採用した。神の国の戦いは、世の手段や常識に合わせて戦おうとすると、合わなくなる。それをういようすると、全然身動きが取れないのだ。主の戦いの武器は、殺傷能力の高い世の武器や、暴言や、脅し言葉などではなく、羊飼いの道具、すなわち、養い守るべき”羊達”を守ってきたことば、手段、方法であり、何より、まことの羊飼いでられる主の言葉だ。ダビデは、川から滑らかな石を5つ取って来たように、私達も巨人を倒すためには、御言葉の水の洗いに揉まれて角が取れた”生ける石”を取り、イエス・キリストという岩の土台に立って、敵に立ち向かうのだ。

45 節以降のダビデの言葉には、私達が勝利する秘訣が、ふんだんに込められている。「お前は剣と、槍と、投げ槍を持って、わたしに向かってくるが、わたしは万軍の主の名、すなわち、お前が挑んだ、イスラエルの軍の神の名によって、おまえに立ち向かう。」ダビデは、この言葉によって、武器や力の戦いから、自分の神 vs 相手の神という戦いへと、シフトした。私達も、主イエスの御名を宣言し、シフトすべきである。「この全会衆も、主は救を施すのに、剣と槍を用いられない事を知るであろう。この戦いは主の戦いであって、主が我々の手にお前達を渡されるからである。そう！主は、武器や装備、経済などを使わずに、救う事がおできになる方である！私達も主の約束の言葉に基づいて、イエス様の御名によって、主の戦いである事を宣言し、主に戦っていただくなら、あとは、主が、勝利へと導いて下さる。

ダビデはそうした結果、石ひとつでゴリヤテを打ち倒し、ゴリヤテ自身の武器でとどめを刺した(49-51 節)。そしてダビデがゴリヤテを倒した時、イスラエルは、ゴリヤテが決めたルールなぞ守らなかった(52-53 節)。神の民はそもそも、無割礼の者が敷いたルールに、従わされるべきではない。むしろ、主にあつてルールを敷いて、それに、無割礼の者を従わせるべきである。「ゴリヤテルール」は、ダビデの信仰宣言によって「ダビデルール」へと上書きされ、それによってダビデは、勝利した。人生における戦いや、主にある兄弟姉妹の戦いを、「主の戦い」へとシフトして、相手がどんなに巨大でも、どんなに大軍でも、どんな装備であっても、彼らの拠り所としているものが、無力化され、私達の神の前に倒れ、そしられていた日々の復讐の日々が始まり、滞っていた祝福の流れが流れ出して行く皆さんでありますように！

お祈りしていただきたい事がありましたら、以下にお書きの上、教会へお持ち下さい。

第17巻11号

2022年3月13日

横浜天声キリスト教会

礼拝 週報



集会案内

主日礼拝(日曜)

日本語礼拝 礼拝 11:00
食事・フェローシップ 13:00～
English Service 14:00～

日々の集会

月～金 早天祈祷会 5:00～
火・木・金 賛美と祈りの集会 13:00～
火～木 夜の祈祷会 19:00～

水曜礼拝

1部 13:00～
2部 19:00～

金曜祈祷会

19:00～

各礼拝はインターネットでライブ中継しております → youtube.com/c/横浜天声キリスト教会

アクセス



横浜市営地下鉄・伊勢佐木長者町駅
6番B出口を出てまっすぐ徒歩5分
JR・関内駅より徒歩10分
京急線・日ノ出町駅より徒歩10分

関内駅から伸びる大通公園沿い、
伊勢佐木警察署の向かい対角線上にあり、
1Fがファミリーマートになっております。



聖書メッセージをメールで
お届けします。
左記コードを読み込み、
空メールを送信するだけ！

〒231-0058

パスター：林和也 川合ゆきえ

神奈川県横浜市中区弥生町2-17 ストックタワー大通公園 I-201

TEL/FAX: 045-326-6211

Homepage: <http://voice.of.christ.yokohama/>

email: ephes_03-tensei@yahoo.co.jp



YouTube